© The Tiffen Company, 2000
KODAK Gray Scale
Kodak
LICENSED PRODUCT

1961
125

125
遠
1.961
68
合冊三

1961
125

仙方長壽綿溫石

新製上品
一箱價三匁

需ふ應しまく之後

報條

武真三馬述

這箇長壽溫濟綿ハ俗ふ綿溫石の後ハ予が先祖一子相傳の秘授なり嘗てさびやさび勿論中華名医傳方ハ名も倫まれ抑溫綿の由来を尋ぬるに仲景思貌ゑ声色ふ彼野文なれ内科外科古方後生ゆゑ仲景思貌ゑ声色ふ彼野文なれ良医より密に授る妙剤ハ巻末ふ載せ糸綿と懐ふ入れおくべし

あて寒く時ハ忽ち柔カ五臓ふめぐり風雨ハ祀さる其効

所謂「ぞけ」さむぞう坊の巴方様或ハ巨燵に煎ぜ煎じ色より可也

抱火鉢の艶情をも寒と倶にこゝろ神のでゝ中ハ

仙方長壽綿

自讃とゐつるのはゝ者ゝ多ゝ者之はゝ世ゝ誠ゝ古今未嘗有稀代不
思儀の霊ゝ薬ゝ○世ゝ行ゝ箱入温石のゝ如ゝ温石なんで大病の
石の衣類とゝ其功能と爭ゝ難ゝ温石なんで大病の
ゝ之ゝ生ゝんや彼今河豚汁湯豆腐の力と借ゝ頼ゝ玉の汗をゝ
らし風呂吹玉子酒の粉ひゝ出ゝ寒ゝ冷ゝ時ゝ寒ゝ冷ゝ
ゝ天ゝ錢ゝ取ゝ
虚弱の人と傷ゝ山温綿の奇効
精とゝげまゝ邪濕とゝ去ゝて食ゝ
上衝とゝげ労熱とゝ疲ゝ老ゝ人の筋骨とゝ
痺ゝ婦ゝ人の血とゝ
仰ゝ

中風 痰飲 積聚 咳嗽 腹痛 疝氣 瘧疾 痢疾
持病 脳卒中に及ぶ 冷ゝ寒ゝ病の ゝ四百四病ハいふも更ゝ百
八町のいゝ義ゝ極ゝ

花嫁日蓮上人程の綿を願ゝ牛のごゝ重ゝ
ゝて献ゝ傷の綿のゝ
ゝ嫌ゝ先温なゝ
鍛ゝ
金鮮自然とゝ
ゝなゝ鍼の程ゝ
女中ゝ
評判ゝ
チト懐ゝ

本家製法所

江戸大傳馬町三丁目南新道

藤田金六製

本家と号ゝ
二丁ハ
ゝ

取次所 山下町 萬屋太治右衛門
仲町 伏見屋善六

俳優節用狂言袋

三馬作

仙方長寿絆温石

太治郎門

大ぶく俵

本萬

見者
作者

自先達御吹聽
綿溫石
奇効報條
市中泉

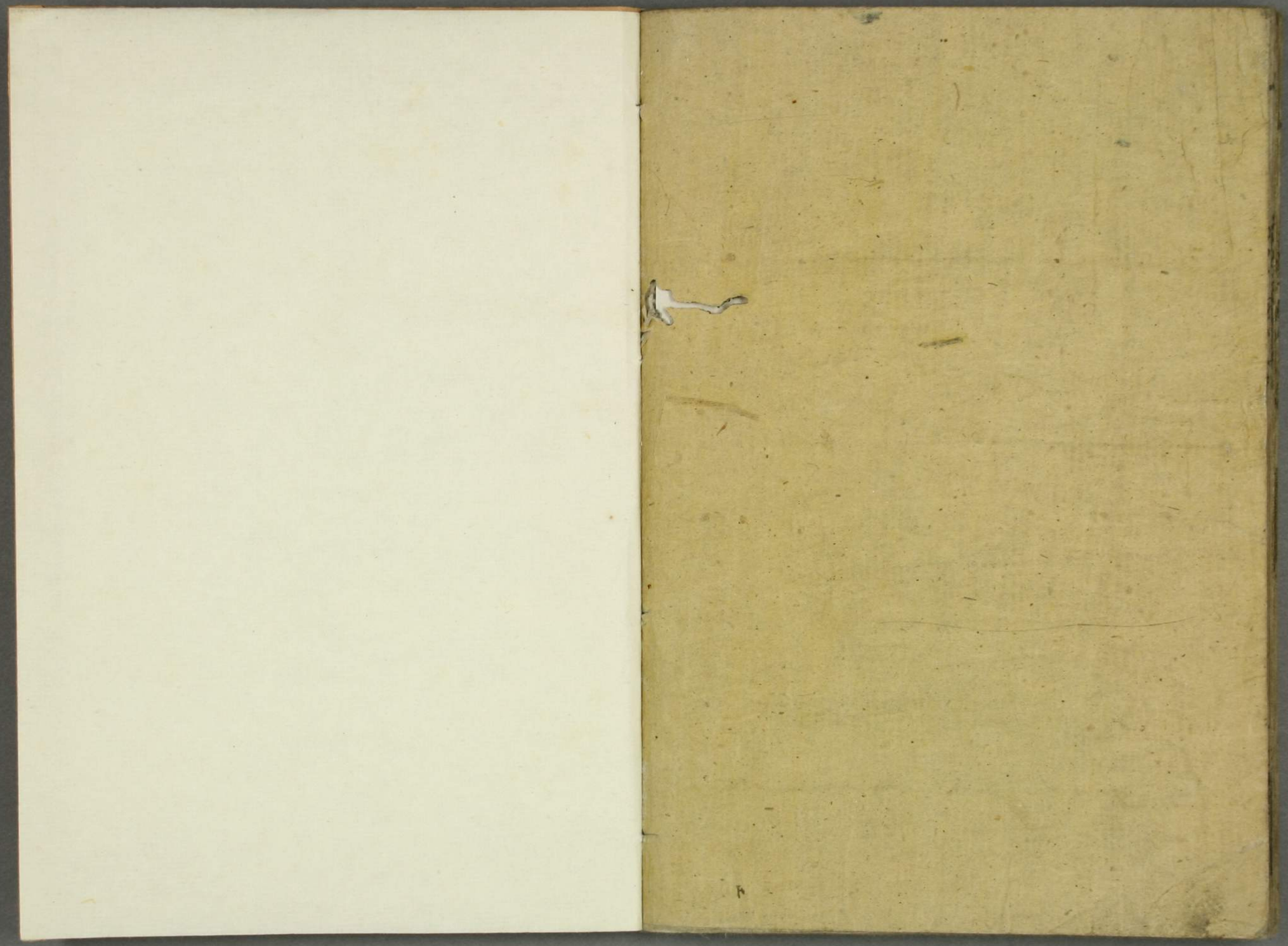
名代ひやーちんちろふろう
ちやろさ八人さまのむまれい
いめんろうのけいつふーさ
まつこれんがさりのけりい
けしくろろうしそとれくの
ざうぐさうしらへいれて
すちけいーっふまつそ
こてかーこのちやさ
くいでるあと
ことさそせんハ
いすもさーんで
ろろろこものそこ
ちさひろんでも
ようどろ八人
けいーやと
名代おろて
町中の大ひやう
ちんさーきくの
ひまもさく
そこでも
こてでも
八人けいや
くーとちの
かるゆあび
さーーく二おやハ
ちろけでおろまと
きてーれろ
八人のせーろう
いすもよふまーつそ
ぞんちゆんさるさす
八人けいのかくやと
いんさろうたをろ
こんでさんけくが
すーふーとちこくの
ちーの上とい

それハ
今のよろ
八人けいと
いすもめハ
けひろあろろ
ちびまろーし
とろやろろとの
ろそらーき
めろろあそハ
つぞふいろーちん
せろろくくの
八人のまろいで
ぞろまれ
ぼちんめろあふきさん
ちろつとろくとでぬく
アレカちれじや？
おちんさんのらびが
こぞーかろそろくぬいさ

自先達
御吹聽
綿溫石
奇効報條
仙方
長壽
綿溫石
泉下市

撰取戀目録　新淨瑠璃

同行十六人道行

八天狗の名へんも
大てんぐ小てんぐ
てんぐ
ひつ
てんぐ
ろく
あんとも
喜べい

三馬作
仙方綿屋石
長壽
目
度